



JForest 熊本県森林組合連合会

森林組合だより

FOREST ASSOCIATION COMMUNICATION PAPER

第179号

平成29年1月発行

発行所
熊本県森林組合連合会
〒861-8019
熊本市東区下南部2丁目1-55
TEL (096) 285-8688
FAX (096) 285-8651
発行人 前川 收
<http://www.kumamori.or.jp>



原種「天草大王」

江戸時代から昭和にかけて肥後には、肥後五鶏（肥後ちやば、九連子鶏（くれこどり）、「熊本種」、「地すり」、「天草大王」と呼ばれる五種類の鶏がいた。天草大王は明治中期頃に熊本県天草地方で作出された体重約7kgの大型の鶏。昭和初期頃に絶滅したため、残された一枚の油絵と僅かな文献を基に二〇〇〇年に復元した。

「原種天草大王」を利用して二〇〇三年から熊本県の地鶏「天草大王」の生産が開始された。

『丁酉（ひのととり）』

2017年は、十干が丁（火の弟）、十二支が酉（トリ年）、五行は金の年である。

樹木に例えると、丁は『充実して伸び盛り』を意味し、酉は『成長が止まった状態』を表していることから、例年より矛盾を多く感じる年となるかもしれない。また、十干の丁と五行の金を見ても、『火が金を剋する（相剋）』年とされている。60年前の丁酉の年1957年は、神武景気と岩戸景気との間の時期で経済的に微妙な年であった。しかし、この年に大きく踏み出した一歩は拡大成長路線へと伸びて、時代の転換期となった年でもあった。

そこで今年も、事を構えるには慎重を期し、将来を予測することで大きく一歩踏み出し、飛躍に結びつけ前進することのできる年、と言えよう。

本年もよろしくお願ひ申し上げます

委員 長	熊本 県林業 政治連 盟	他 職 員 一 同	監 事	代 表 監 事	理 事	代 表 理 事	副 理 事	代 表 理 事	熊本 県森 林組 合連 合会	
			田 代 亨	月 足 昭	堀 川 泰 注	味 岡 和 國	窪 岡 一	西 坂 栄 樹		外 本 英 治

新年のご挨拶



熊本県森林組合連合会
代表理事会長

前 川 收

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。皆様におかれましては、ご家族ともども健やかに新たな年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年4月、熊本県は震度7という激震に2度見舞われました。その地震の影響で本会事務所（林業会館）は全壊判定を受け、解体せざるを得ない状況になりましたが、その際に森林組合系統の皆様方、関係各位から心のこもった励ましの言葉やお見舞いを賜りました。厚く御礼申し上げます。

ただ、「平成28年熊本地震」、その後の4千回を超える余震や集中豪雨等の影響で、林内道路の寸断や多くの林地に亀裂が発生するなど、作業の安全確保に今まで以上に配慮する必要が生じています。

本年は仮事務所でも新年を迎え、新たな気持ちで頑張る決意しております。新事務所については、昨年来、役員一丸となって検討を重ねており、1日も早い建築、移転を目指し鋭意努力をしているところです。

さて、世界に目を向けますと、昨年6月の国民投票の結果を受け、イギリスのメイ首相が本年3月末までにEU離脱の通知を明言しました。更に、昨年11月、アメリカ大統領選挙があり、アメリカの変革を訴えた共和党候補のドナルド・トランプ氏が激戦を制し、1月20日には第45代アメリカ大統領に就任します。今までの国際秩序が大きく変化する激動の時代を迎えようとしているのかもしれませんが。

また、昨年の11月に地球温暖化対策の新たな国際ルールである「パリ協定」が発効しましたが、我が国は広範な海や地熱、そして豊かな森林資源に恵まれ、再生可能エネルギーの比率を拡大し温暖化防止に貢献できる可能性が十分にあります。

従って、この国土の約7割を占める森林を適切に維

持管理することが重要な課題であると考えております。

しかし、林業関係予算は削減され減少傾向にあり、このままでは多面的な機能を有する森林の適切な整備、地球温暖化防止の実現も危惧される状況にあります。

戦後、整備された人工林は成熟し、既に伐期に達しており、適切に伐採し、再造林を進めることが重要であります。このことによって持続的林業経営が担保され、ひいては偏った年齢構成を平準化することができると考えております。

これらを具体的に実行するためには、その時々の方針に影響されることなく森林整備を推進することができる財源の確保が重要であり、「森林環境税」の創設を強く推進しているところであります。

我々森林組合系統としましては、色々な機会を捉え、国民に広く理解を求めることが不可欠であると認識しております。

このような中、新たな系統運動方針「JForest森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森を活かして地域を創る～」が決定され、組合員の所得向上や国内林業対策の強化に系統組織を挙げて取り組むこととなり、本年3月には、県森連、各森林組合が所管する地域の特色に基づいた運動方針を策定することになっております。

また、我が国は少子化がハイスピードで進んでおり、新規住宅着工数は激減するとの予測もある中で、公共建築物やリフォーム等での木質化、新規需要開拓など系統一丸となって実行することが求められていると認識しております。

最後になりましたが、本年が皆様とご家族にとり豊かで実り多き一年となりますことをご祈念申し上げます。新年にあたってのごあいさつと致します。



熊本県農林水産部
部長

濱 田 義 之



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

会員並びに森林組合の組合員の皆様に新年のお慶びを申し上げます。

さて、昨年4月の熊本地震では、大規模な山腹崩壊や林道損壊などが多数発生し、甚大な被害となりました。加えて6月の豪雨によりさらに被害が拡大し、過去に類を見ない規模の災害となりました。県といたしましては、1日も早い復旧・復興に向けて、国と連携しながら取組みを進めて参ります。

また、災害の復旧復興にあたりまして、「くまもと型復興住宅」を普及するためのモデル住宅に木材を提供いただくなど、多大な御支援と御協力を賜り、前川会長をはじめ、貴会並びに会員の皆様方には、深く感謝申し上げます次第です。

さて、国においては、林業の成長産業化の早期実現に向け、平成37年の国産木材の供給量を平成26年の約1.7倍の4千万立方メートルに増やす目標等を掲げた「森林・林業基本計画」が昨年5月に策定されました。本県においても、現在の「熊本県森林・林業・木材産業基本計画」が本年度で終期を迎えるため、「森林資源の循環利用による林業の成長産業化と多様で豊かな森林づくり」を目指した次期計画を作成しているところです。

県内の人工林は半数以上が本格的な利用期を迎え、木質バイオマスのエネルギー利用や木材の輸出など新たな需要が高まる中、県においては、成熟した資源を活かした林業の活性化を図るため、意欲ある担い手等への森林の集積・集約化や林業機械の導入等により施業の効率化を進めるとともに、生産基盤としての路網の整備を推進しているところです。

また、県産材の更なる需要拡大については、公共施設等への利用促進を図るとともに、木材の輸出拡大やCLTを用いた新たな分野での利用等の取り組みも併せて推進して参ります。

森林組合におかれましては、地域林業の中核的担い手として、施業集約化をはじめ木材の安定供給に取り組んでいただきたいと思います。

最後になりましたが、本年が森林組合系統にとって輝かしい年となりますとともに、皆様方のますますの御健勝と御活躍を祈念致しまして、年頭の御挨拶といたします。



農林中央金庫 福岡支店
支店長

白 川 裕 二 郎

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まずもって、昨年4月に発生いたしました熊本地震で被災された皆様に対し、心よりお見舞い申し上げます。

改めまして、森林組合の組合員および役職員の皆様方におかれましては、ご健勝にて新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は当金庫の業務に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2016年から2017年にかけての経済・金融情勢につきましては、消費税増税の先送りや8月に決定された経済対策による効果などにより、景気の先行き期待が高まった昨年の流れを受け一方で、本年は米国の次期政権の経済政策の影響を受けると考えられます。

林業情勢に目を転じますと、木材の国内自給率が33%まで上昇する中で、CLTなど新たな製品による建築やオリンピック・パラリンピック需要などが見込まれており、原木供給者としての森林組合系統に対する期待感は、ますます高まっていくことと存じます。

熊本県森林組合系統の皆様方におかれましては、地域林業の中核的な担い手として引き続き存在感を発揮しながら、今年度からスタートする新たな系統運動を着実に実践することにより、皆様方の復興に向けた新たなスタートの年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

当金庫といたしましても、低利の資金メニューをご用意するなど、引き続き金融面から森林組合系統の皆様方をサポートさせていただき所存でございます。また、非金融面でも、林業安全装備品の購入費の一部助成を行う労働安全性向上にかかる支援や、国内の荒廃した民有林を再生する事業に助成を行う「農中森力基金」による事業支援、コンプライアンス研修のお手伝いを通じた組織基盤強化、森林CSR活動への助成などにより、熊本県森林組合連合会を中心とした県内森林組合系統のお取組みを可能な限りサポートをさせていただきます。

結びにあたり、本年が皆様にとって実り多い一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。



全国森林組合連合会 代表理事長 佐藤 重芳

謹んで初春のお慶びを申し上げます。

日頃より皆様方におかれましては、森林組合活動へのご支援、ご協力を

賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、4月に熊本地震が発生し、森林組合系統においても、事務所や山林に被害を受けました。さらに、台風による各地での水害や鳥取県中部地震など、多くの自然災害に見舞われた年となり、身を持って自然の猛威を体感いたしました。また、東日本大震災と東電福島原発事故からまもなく6年が経過いたしますが、復興・復旧に向けては未だ多くの課題を抱えております。これらの被害に遭われた方々が、1日でも早く安心して生活を取り戻せるよう、我々も可能な限り支援を続ける所存です。

さて、森林は生命の営みの最もかけがえのないものであり、未来からの借り物だと言われてきました。しかし、林業を取り巻く現状は、山元立木価格の長期に亘る低迷や、それに伴う森林所有者の経営意欲の低下等、依然として厳しい状況にあり、適切な管理・経営が行われない森林が増加することで山の循環が滞り、人工林の齢級構成は著しく高齢級に偏っています。そうした中で、森林組合系統では、昨年度よりスタートした新系統運動『JForest森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森を活かして地域を創る～』において、主伐地に対する確実な再造林を行い、次代に向けて我が国の森林の若返りを推進することを盛り込んだところであります。

森林の循環利用を進めるためには、木材需要を今より拡大することが不可欠ですが、東京オリンピック・

パラリンピック競技大会を見据えて、経済界から国産材需要の拡大に向けた提言が行われるなどの後押しも出てきているところです。全森連においても、昨年11月8日に日本林業協会、全国木材組合連合会、日本林業経営者協会、全国素材生産業協同組合連合会とともに「持続可能な森林経営の基盤確立に向けた行動宣言」を行いました。これは、森林・林業・木材産業の成長産業化を軸とした山村地域社会の創生を実現するため、国産材の需要拡大と森林資源の循環利用を進め、森林の健全化という大きな目標に向け、森林・林業・木材産業界が一体となり行動していくことを内外に広く示したものです。

また、平成29年度の税制改正大綱では、10年以上に亘る我々の悲願である森林吸収源対策の安定財源確保について、「市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、個人住民税均等割の枠組みの活用を含め都市・地方を通じて国民に等しく負担を求めることを基本とする森林環境税（仮称）の創設に向けて、地方公共団体の意見も踏まえながら、具体的な仕組み等について総合的に検討し、平成30年度税制改正において結論を得る」と期限や徴税方法の枠組みが明記されたところです。来年度の税制改正大綱での結実に向けて、引き続き関係各位のご協力をお願い申し上げます。

本年は酉年です。酉は果実が成熟した様子を表しており、物事が頂点まで極まった状態のことを指します。また、鳥にちなみ、「とりこむ」と表現され、商売などには縁起の良い年とも言われています。皆様方にとって、良い成果を上げられる1年になることを祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

『くらしと人権』 =気づこう、そして考えよう=



熊本県人権啓発
マスコットキャラクター
「ココロ」



「人権」とは

人は誰でも自分らしく、そして幸せに生活するという基本的な権利を生まれたときから持っています。この権利を「人権」といいます。



「人権問題の解決」のためには

私たち一人ひとりが、相手の立場に立って考え、自分の言動に責任を持つことが重要です。

「熊本県では、結婚や就職の際の部落差別につながるような身元調査が条例で規制されています。」



平成28年度 JForest 全国森林組合代表者大会

とき：平成28年11月11日(金) ところ：東京都千代田区(砂防会館)

平成28年度全国森林組合代表者大会が約750名の参加のもと開催された。冒頭、佐藤重芳全国森林組合連合会代表理事会長から「森林吸収源対策のための安定財源確保に向けて皆さんの力を一つにして頑張りましょう」との挨拶があり、その後、組織の発展に功績のあった退職役員に対し林野庁長官並びに全国森林組合連合会長から表彰状が授与された。

本県では、当連合会の定年退職者を含め2名、県内の森林組合から13名、計15名が表彰された。さらに、大会決議が村松幹彦愛知県森林組合連合会代表理事会長により読み上げられた。

最後に、前川收熊本県森林組合連合会代表理事会長が熊本地震に伴う支援に対するお礼を兼ね、今後の林業の発展と繁栄を祈念するため、『ガンバロウ三唱』を行い、盛会のうちに大会を終了した。



当連合会の前川会長によるガンバロウ三唱

平成28年度

熊本県林業施策勉強会の開催

とき：平成28年11月10日(木) ところ：東京都千代田区(参議院会館)

平成28年度熊本県林業施策勉強会を東京都千代田区の参議院議員会館で実施した。本県から林業政治連盟の役員17名が出席し、「平成29年度森林・林業・木材産業施策及び政府予算等に関する提案書」と「森林環境税(仮称)の創設に向けた要望書」を本県選出国會議員並びに林野庁の沖次長に手交し、平成29年度政府予算概算要求の満額獲得についての要望を行った。

その後、林野庁幹部との勉強会を実施。「国産材の大径木対策」及び「シカ被害対策」をテーマに協議した。これらの課題は全国的な問題であることから、地方自治体や森林組合、林業事業体などが一丸となり対策を講じる必要があるとの意見がでた。



野田衆議院議員の挨拶



勉強会の様子

平成29年度

森林・林業政策・予算に関する県への要望活動

とき：平成28年11月15日(火) ところ：熊本県庁

副知事へ要望書手交



熊本県庁において「平成29年度県に対する予算要望書」を蒲島知事及び農林水産部長等に対し提出することとし、当日は小野副知事、熊本県の総務部、農林水産部、土木部、教育庁に対して要望書を手交するとともに、公共建築物への木材の積極的な使用促進が、森林・林業の発展に寄与する旨の説明も行った。県各部局は木材の活用はかなり積極的であるが、県だけでなく市町村に対しても県産木材の利活用を呼び掛けてもらうよう要望した。

くまもと型復興住宅 モデル住宅完成!!

平成28年12月2日(金) 於:上益城郡益城町田原【テクノリサーチパーク近郊】

昨年4月に発生した熊本地震により損壊した住宅再建のため、熊本県が提案した「熊本県産材を使用し、耐震等級3の性能をもち1千万円程度で建設可能な『くまもと型復興住宅』」のモデル住宅建設に対し、当連合会から1戸分の木材を提供し、昨年末、テクノ仮設住宅地内に完成した。

その活動に対し熊本県知事の感謝状が、前川収熊本県森林組合連合会代表理事会長に授与された。



くまもと型復興住宅 モデル住宅1号棟 完成式



小野副知事から感謝状を授与

『おおえのき』100年復活計画 ～命をつなぐプロジェクト～

ウッドデザイン賞 受賞



JAPAN WOOD DESIGN
AWARD 2016

ウッドデザイン賞 2016

下記の作品は、消費者目線での新たな木づかいを促進する
ウッドデザイン賞に入賞いたしましたので、これを表彰します。

ハートフルデザイン部門

『「おおえのき」100年復活計画』命をつなぐプロジェクト

熊本県森林組合連合会
農林中央金庫 福岡支店
菊池森林組合
熊本大学 教育学部

平成28年12月8日

ウッドデザイン賞運営事務局



平成28年10月24日に「ウッドデザイン賞2016」の受賞作品251点が公式ホームページで発表され、当連合会、農林中央金庫福岡支店、菊池森林組合、熊本大学教育学部が共同で応募した「『おおえのき』100年復活計画～命をつなぐプロジェクト～」がコミュニケーション分野のハートフルデザイン部門で受賞作品に選定された。

この、ウッドデザイン賞は、木の良さや価値を再発見させるような木製品や取組みに対し、特に優れたものを消費者目線で評価し、表彰する新たな顕彰制度。新たな制度であることから、関係業界における認知にとどまっているが、今後は、木と関わりのなかった方々への「木のある豊かなくらし」が普及され、木材利用促進につながることを期待される。

この受賞を契機に、当連合会では様々なツールを用い、森林・林業に寄与するような普及・啓発活動をより一層進めたいと考えています。

※『「おおえのき」100年復活計画～命をつなぐプロジェクト～』は、「森林組合だより 第177号」参照。

各種研修会の開催

1. 森林・林業新技術研修会

開催日：平成28年11月15日(火) 開催場所：芳野コミュニティセンター

対象者：森林組合、熊本県職員（各振興局含む）

講師：① 株式会社ジツタ

② 株式会社森林再生システム

宮内 建史氏・高 畠 洋氏

加賀谷 廣代氏

内容：

① 「ドローンを活用した新たな森林情報整備の手法について」

操作の実演を行うとともに、ドローンの特徴や操作する上での注意事項等の説明があり、その後参加者がドローン操作を実践した。午後の座学では、ドローンの基礎的な知識や、航空法によるドローン使用の制限などについて学習した。

また、レーザー計測のサービス運用に向けた取り組みが、今後どのような形で展開するかについて研修した。



ドローンを活用した森林情報

② 「OWL(アウル：森林三次元計測システム)を活用した森林資源等の把握」

金峰山周辺の林内にてOWLの特徴や操作方法などについて説明があり、その後、参加者による操作の実践とパソコンを用いたデータ解析を行った。午後の座学では、専用ソフトを用いて現地で計測したデータを解析し、データ合成や編集などの手順を学んだ。

また、今後のOWLの将来像について、講師から利用者のニーズにあった製品の開発を目指し、現場の意見を積極的に取り入れる旨の意見があった。



OWLを活用した森林情報

2. 森林組合監事研修会

開催日：平成28年12月2日(金)

開催場所：熊本県花き事業協同組合
(地方卸売市場 肥後花市場)

対象者：森林組合監事

講師：① 熊本県農林水産部団体支援課
島津 敬吉 課長補佐

② 全国森林組合連合会
富山 洋 参事

内容：① 監事とは ② コンプライアンスについて

- ① 監事監査及び報告についての基本的事項や監査時の注意点などについて、実例を上げながら説明した。
- ② 他県で起こった森林組合での不祥事について解説し、各組合のコンプライアンス態勢の確立や不祥事が起きにくい組織風土の形成が一層求められることなど説明した。



研修会の様子

3. 森林施業プランナー2次試験対策研修会

開催日：平成28年12月9日(金)

開催場所：熊本県民総合運動公園陸上競技場会議室

対象者：森林施業プランナー1次試験合格者

講師：① 国立研究開発法人 森林総合研究所
鹿又 秀聡 研究員

② 菊池森林組合 森林整備課
宮崎 修 課長補佐

内容：

- ① 受験者ごとに15分程度の2次試験で行われる面接の模擬試験を行い、受け答えについての改善点やポイントを指導した。
- ② プランナー資格取得後、自身で計画した集約化施業の流れや苦勞した点並びにプランナーの魅力ややりがいについて述べた。



プランナー2次試験の模擬体験

新組合長挨拶



玉名森林組合にし しま ぶみ お 代表理事組合長 西 島 文 郎

この度、福原前組合長の後任として、平成28年度7月の理事会において、代表理事組合長に就任いたしました。当組合も、多様化する木材の需要に対応するため、作業道の開設等により、育林、間伐、造林事業での経費削減に努め、組合員に信頼され、組合員のために貢献できる森林組合として役職員一体となり、行政と共に地域林業の発展と安定した組合運営を進めたいと考えております。今後もより一層のご指導をいただきますようお願いいたします。

冬は雪害や凍害が発生します!!
うちの森林に限って...と思っていません!!
いつ襲って来るかもしれない「もしも」のために 森林保険へ加入しましょう!

大切に育ててきた森林が8つの災害にみまわれたとき、契約内容に従い損害を補償する公的保険です。 ※写真は平成26年2月14日の雪害写真です。

保険金お支払いの対象となる8つの災害

Grid of 8 disaster icons: 火災 (山火事で受けた損害), 風害 (暴風による幹折れ、根返りなどの損害), 水害 (豪雨、洪水による埋没、水没、洪水などの損害), 雪害 (大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害), 干害 (乾燥による枯死などの損害), 凍害 (凍結、寒風などによる枯死などの損害), 潮害 (潮害、潮水浸水などによる枯死などの損害), 噴火災 (火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害)

お申し込みは...お近くの森林組合、熊本県森林組合連合会の窓口まで!!



熊本県森林組合連合会 熊本市東区下南部2丁目1-55 TEL096-285-8688 (利用課)

熊本県水とみどりの森づくり税 ~ 第3期 (平成27~31年度) の取り組みについて ~

熊本県では、平成17年度から「熊本県水とみどりの森づくり税」(年間個人500円、法人千円~4万円)を活用し、水を蓄え、災害を防止するなどの森林の公益的機能の向上を図り、森林を元気な姿にするための取り組みを展開しています。 今後も、皆様のご理解とご協力をお願いします。

みんなで熊本の森林を守っていくモン! お問い合わせ 熊本県農林水産政策課 TEL. 096-333-2422



©2010熊本県くまモン

1. 水源かん養機能などを発揮するための森林づくり
◇針広混交林化や、着実な植林対策
◇森林所有者に対する森林整備の働きかけ
◇耕作放棄地の森林化推進

2. 森林の重要性を伝え、森林を守り育てるための担い手の育成
◇森林を守り育てる地域リーダーの育成
◇住民団体や子ども達を対象にした森づくり活動
◇森林と親しむ活動

3. 森林や木材を活かした地域・景観づくり
◇森林や木材を活用した農山村の地域づくり
◇森林や里山の維持に支障を及ぼすシカへの対策
◇漁業者等が実施する流木除去など

